



祐介の回

No.102

大田祐介（福山市議会議員）

上、市役所と近接するメリット、リムの空き部分の利用促進と家賃収入、建て替えが検討されている施設の建築経費の節減と跡地の売却が可能となる。具体的には税務署、年金事務所、労働基準監督署、商工会議所、老人大学、国土交通省河川国道事務所、上下水道局、ハローワーク等が候補となり得る。

エフピコ・リムの再生

「昨年「リムが閉店する」とのニュースには寝耳に水の人も多かっただろう。しかし、そこ、ロッツ、リムと3代連続の閉店は、リムが商業施設として相応しくないという結論を出したと言える。

枝広市長は昨年11月7日の定例会見にて「超スピード再生」させる考えを示し、2月13日の第6回福山駅前デザイン会議で、リム再生手法の基本的な考え方として閉鎖リノベーション案が望ましいとされた。まずは最小のコストにより低層階のにぎわいの創出、その後のまちづくりの進捗を見極めながら次の展開を検討し、市民の意見を聴く機会を設けることだ。

私に Team Challenge

100という市民有志から提案を受け、市内各所に点在する老朽化した公的機関を集約してリムを合同庁舎として再生する案を議会で提案した。これにより市民の利便性の向

私も以前の職場で人事・労務管理担当者だったので、これらの役所を随分と回らせてもらった。退職者自身も各種手続きにおいて同様であり、ワンストップサービスが実現する意義は大きい。また前記役所の職員は遠距離通勤者も多く、老人大学の学生も福山駅から徒歩圏内であることは大きなメリットである。終業後に駅前一杯というケースも増え、駅前が賑わう事だろう。問題は、リムには窓が無いことだ。トイレ、階段、エレベーターを外壁に面して設置してあるため、採光窓がほとんど無く、労働者の精神衛生上よろしくない。そこで、建物中央のエスカレーターを撤去して吹き抜けとし、太陽光を採光してはいかがだろう。屋上は老人大学の学生により庭園や菜園とし、憩いの場とすれば良いと考える。